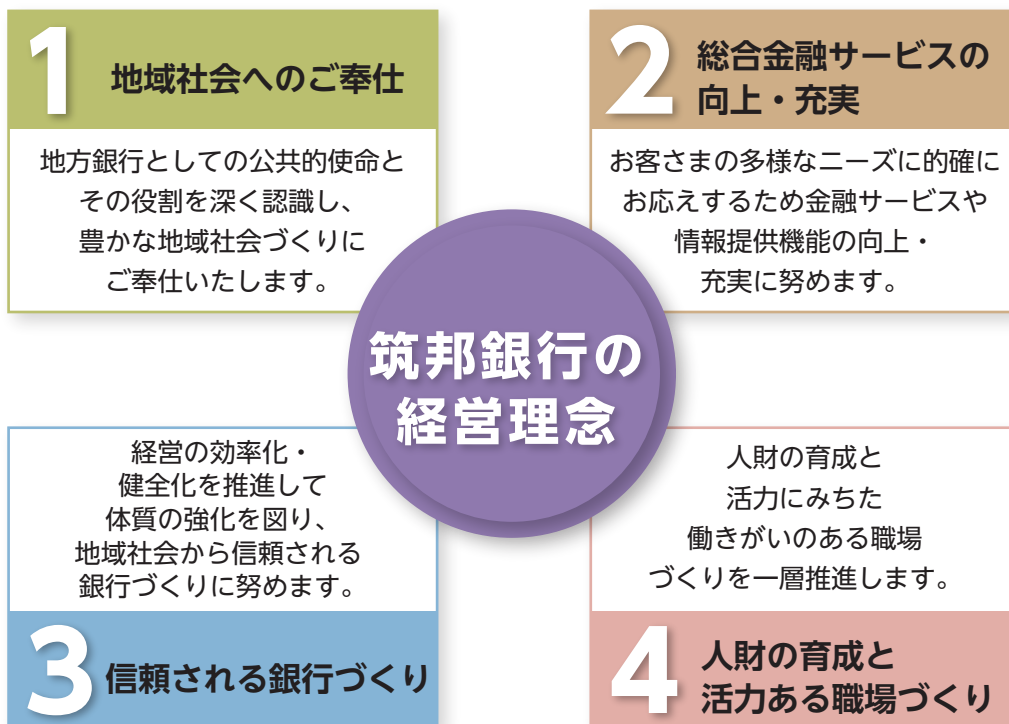


筑邦銀行の基本理念は「地域社会へのご奉仕」です

当行は、昭和27年の創立以来、一貫して「地域社会へのご奉仕」という基本理念のもと、地元のお役に立つことが何にもまして重要な社会的使命と考え、地域の発展とともに今日の基盤を築いてまいりました。今後も地元の銀行として、この経営方針を堅持し、郷土のさらなる発展に貢献してまいりたいと考えています。



「中期経営計画2015」について

当行は、2015年4月から3年間に亘り取り組む「中期経営計画2015」を策定いたしました。

本計画では、「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」をスローガンに掲げました。これまで9年間に亘り地域の皆さまに親しまれた「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」という標語をあえて変更したのは、地域創生・活性化により踏み込んで、目に見える形で地域の繁栄に貢献していくとの当行のコミットメントを示すためです。地域創生への貢献に当たっては、福岡に近いアジア各国の急速な経済成長力をいかに域内に取り込むかという視点が大切です。また、特に本店のある久留米市を中心とした福岡県南地域の持つ魅力ある資源（先進医療、医療観光、先進バイオ、6次化農業、伝統工芸、祭りと食と観光、子育てや教育環境に恵まれた住み易さ等）を活かしつつ、地域の豊かさをいかに次世代に引き継ぎ、さらなる発展に繋げていけるかが重要であると考えます。こうした取り組みを強力かつ計画的に推進するため、中期経営計画の基本方針を、「営業基盤の拡充」、「地域創生への貢献」、「経営課題への的確な対応」の3つとしました。これにより、当行の収益力の強化を起点とした「地域社会・お客さまと共に成長・発展する好循環」という中期経営計画のビジョンを実現します。

当行は今後も、地銀そのものが地方の有力な金融サービス産業であるとの認識の下、堅実経営を遵守し、お客さまのお取引満足度の向上に努めるとともに、地域創生と地域経済の活性化に尽力してまいります。

中期経営計画の概要

中期経営計画2015 (2015年4月～2018年3月)

基本理念

「地域社会へのご奉仕」

当行は、昭和27年の創立以来、一貫して「地域社会へのご奉仕」という基本理念のもと、地元のお役に立つことが何にもまして重要な社会的使命と考え、地域の発展とともに今日の基盤を築いてまいりました。今後も地元の銀行として、この経営方針を堅持してまいります。

中期経営計画2015

(対象期間2015年4月～2018年3月)

中期経営計画2015の全体スキーム

地域を興し、ともに成長・発展する銀行

中期経営計画の
スローガン

中期経営計画の
ビジョン

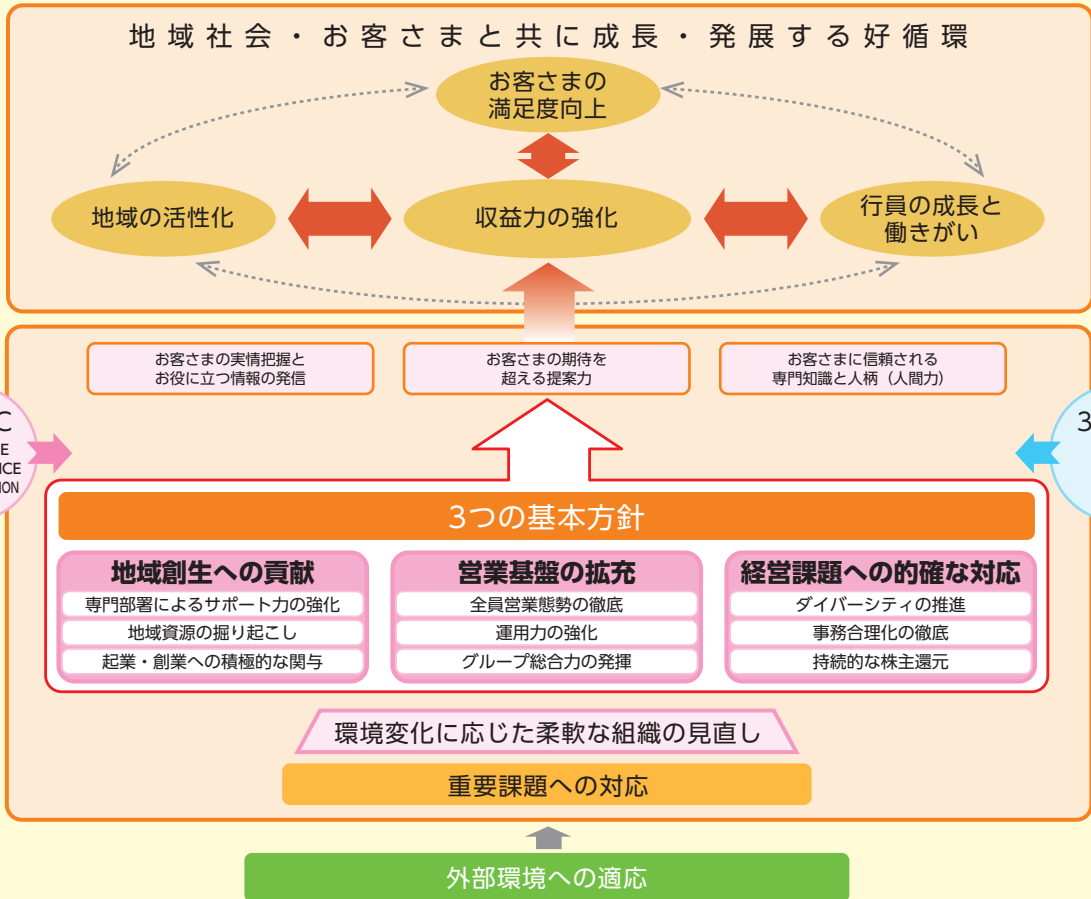
求められる
行動基準

3つのC
・CHALLENGE
・CONFIDENCE
・COMMUNICATION

計画達成に
向けた基本方針

基本方針の下で
実施する
重点取組項目

3つのS
・SPEED
・SMILE
・SPIRIT



中計最終年度の数値目標 [2018年3月期]

単体

1	預金等(期中平残)	7,000 億円 以上
2	貸出金(期中平残)	4,500 億円 以上
3	実質業務純益	22 億円 以上
4	当期純利益	10 億円 以上
5	自己資本比率	8.0 % 以上